

芦屋市環境処理センター運営協議会(4/20)からの意見等

項目	意見等	対応・考え方
施設配置及び動線計画	<p>処理センター内の既存樹木(特に、敷地南側の竹林。)を残存・活用するなどして、緑化に関する計画(緑地率 20%の確保が必要)を検討してほしい。</p>	<p>施設配置を検討する際、既存樹木が支障となる箇所が想定されるものの、可能な限り樹木の残存(移植等)も含め緑化計画を考えていきたいと考えます。</p>
	<p>現在、処理センター西側信号交差点から処理センター内に進入する道路が曲線状となっているうえ、入口に進入後、Uターンする必要がある。 安全通行の観点から進入部分の形状等を改良するなど検討してほしい。</p>	<p>将来の動線計画参考イメージ図のとおり、進入後のUターンは不要となり、直進での動線を考えていますが、安全・円滑な通行ができるよう入口の形状について検討します。</p>
	<p>資源化施設とパイプライン施設との間の通路は、市民と事業者の各車両が通行するため、通路(2車線)幅員は十分に確保してほしい。</p>	<p>資源化施設の配置を検討する際、当通路の幅員については、安全に通行できるよう検討します。</p>
多面的価値の創出	<p>検討項目の一つとして「憩い集い空間」を挙げているが、多くの市民が来訪して楽しめるような施設計画を検討してほしい。</p>	<p>施設配置に伴う未利用地等において、多くの市民が利用可能な施設整備を検討します。</p>
その他	<p>プラスチック使用製品廃棄物の分別回収は令和12年4月開始予定としているが、現在の石油等資源を取り巻く社会情勢からみて、分別回収の開始時期を早めるなどの考えはないのか。</p>	<p>現在の社会情勢は把握していますが、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収は、今回の施設整備に併せて実施することとしており、令和12年4月の開始に向け取組んでいきます。</p>
	<p>施設整備による工事期間中は、市民・事業者・工事用の各車両が通行することになるため、安全管理に注力をしてほしい。特に、市民の持込み車両には配慮が必要である。</p>	<p>工事の施工計画を検討する際、各車両が安全に通行できるよう動線を設定し、各車両が輻輳することの無いよう安全管理方法・体制等を整えます。</p>